

日東紡グループ

個人投資家説明会

2025年2月23日
日東紡 コーポレート・コミュニケーション部

証券コード：3110

Nittobo

Nittobo Create

もっと未来にワクワクしたいから、
世の中にないものをつくり続ける。

日東紡グループは社会や未来をもっと便利で豊かなものにしたいという
想いから、1938年世界初のグラスファイバー工業化をはじめ、新たな
素材や技術を生み出してきました。これからも便利で安心な社会を支え
続けたい。次の未来もワクワクできるものにしたい。そのために私たちは
まだこの世界にないものをこれからもつくり続けます。



本日の内容

1. 日東紡グループの概要
2. 中期経営計画（2024-2027年度）
3. 株主還元について
4. Appendix
 - ・FY2024 第3四半期業績概要（2024年4月～12月）
 - ・FY2024 通期見通し（2024年4月～2025年3月）

1. 日東紡グループの概要

(1) 会社概要

(2) 経営理念、長期ビジョン

(3) 事業紹介

1-(1) 会社概要



■ 創立	1923年 4月
■ 本社所在地	福島県（本部所在地：東京）
■ 代表者	取締役 代表執行役社長 多田 弘行
■ 売上高（2023年度）	933億円
■ 営業利益（2023年度）	84億円
■ 資本金	196億円
■ 従業員数	2,690名（連結） 793名（単体）
■ 発行可能株式総数	120,000,000株
■ 発行済株式の総数	37,723,012株
■ 株主数	8,420名

1-(2) 経営理念、長期ビジョン

経営理念

日東紡グループは「**健康・快適な生活文化を創造する**」企業集団として社会的存在価値を高め、豊かな社会の実現に貢献し続けます。

日東紡宣言

日東紡グループは**社会の「ベストパートナー」**を目指します。
“日東紡でよかった”それが、私たちの誇りです。

長期ビジョン

2030年にありたい姿『Big VISION 2030』

全てのステークホルダーから「日東紡でよかった」と思われる**企業グループ**を目指す
 持続可能な社会実現のために、
 「環境・エネルギー」「デジタル化社会」「健康・安心・安全」に貢献する
グローバル・ニッチ No.1を創造し続ける**企業グループ**

【日東紡グループが目指すグローバル・ニッチ No.1】

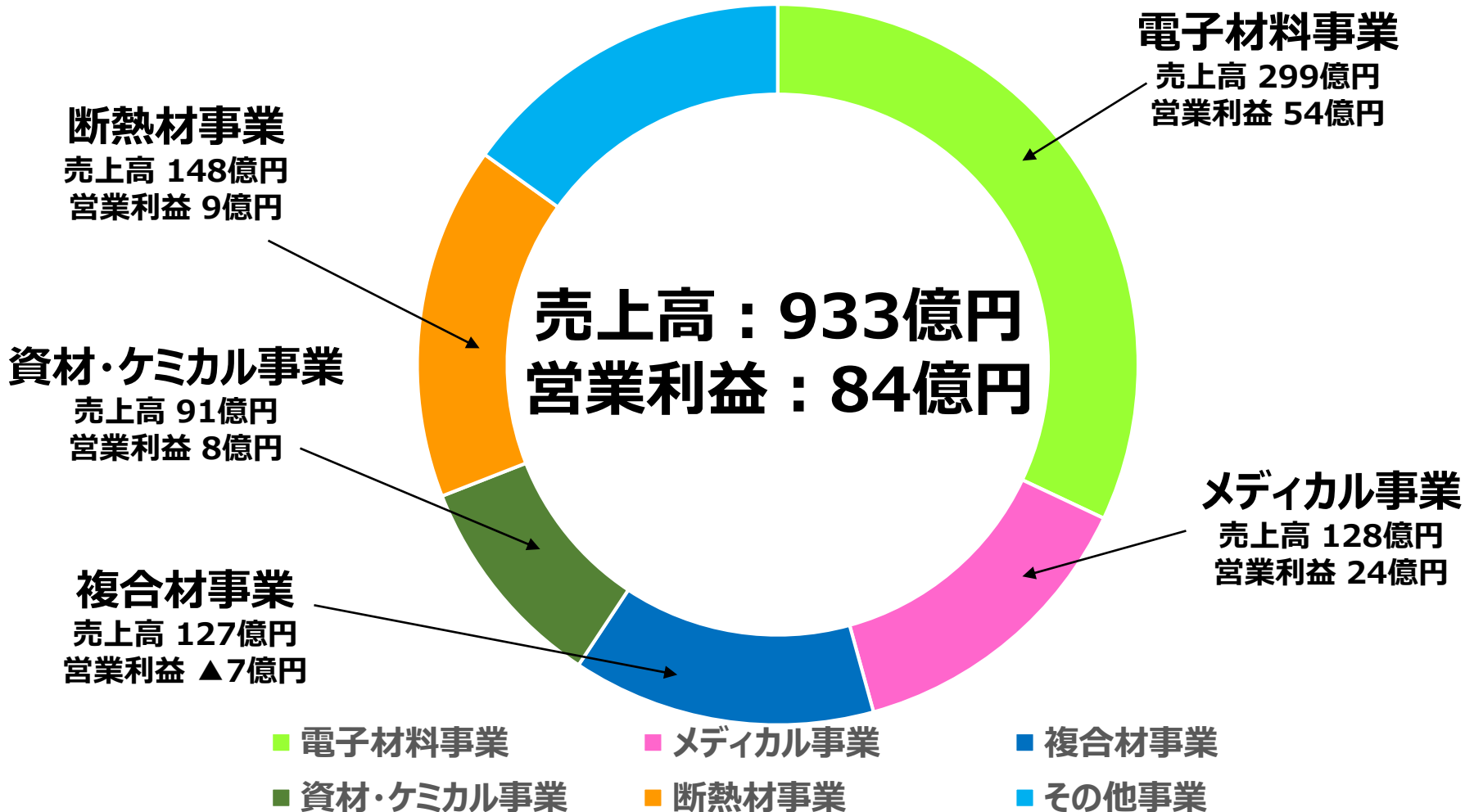
ピンポイントのニーズに応える：全てのアイデアの可能性を生かし、眠る需要を掘りあてる

社会に必要不可欠な製品の開発：強みとする技術を軸とし、新しい分野へも挑戦を試みる

製品開発で独自のポジションを築き、グローバルな顧客に深く根ざす

1-(3) 事業紹介

2023年度売上高実績 (概算値)



1-(3) 事業紹介 電子材料事業

電子材料用途のグラスファイバーヤーンとガラスクロスを開発、製造、販売
AIサーバー、高性能PC、ネットワーク機器、スマートフォン等、幅広く展開

■ 2023年度実績（概算値）

売上高 299億円、 営業利益 54億円

■ 強み

- ・独自組成のスペシャルガラスは、低誘電や低熱膨張などの特性が求められる高速・大容量通信用途の高性能プリント基板の絶縁材として高い評価とシェア
- ・継続的設備投資による製品供給体制



1-(3) 事業紹介 メディカル事業

健康診断や人間ドックなどで使用される「体外診断用医薬品」を開発、製造、販売を中心としたメディカルに関連する事業を展開

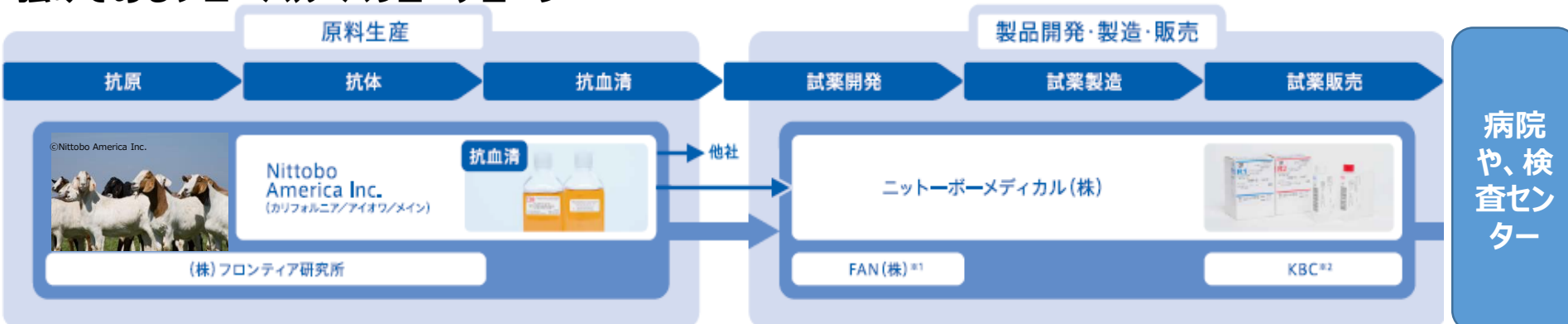
■ 2023年度実績（概算値）

売上高 128億円、 営業利益 24億円

■ 強み

- ・原料から試薬販売までを一貫体制で行うグローバル・バリューチェーンの構築
- ・免疫系血漿タンパク分野におけるプレゼンス

強みであるグローバル・バリューチェーン



1-(3) 事業紹介 複合材事業

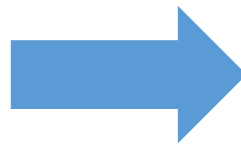
プラスチック強化材料用途のグラスファイバーを中心とした複合材料の
開発、製造、販売

■ 2023年度実績（概算値）

売上高 127億円、 営業利益 ▲9億円

■ 強み

- ・独自のガラス組成技術などによる充実した製品ラインナップをベースとする顧客ニーズへの対応力



自動車の部品や家電製品の筐体、バスタブなどに使用



1-(3) 事業紹介 資材・ケミカル事業

産業資材用グラスファイバーや機能性ポリマー、繊維などの開発、製造、販売

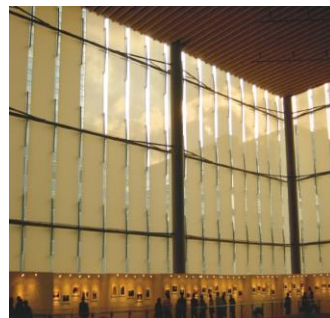
■ 2023年度実績（概算値）

売上高 91億円、 営業利益 8億円

■ 強み

- ・高強度、対候性に優れた膜材などの製品力
- ・独自の原料や製造ノウハウを生かした機能性ポリマーの研究開発力
- ・繊維事業で培った接着技術

・産業資材用グラスファイバーは、スポーツ施設の天井や大型施設のブラインドなど多岐にわたる用途に対応



・機能性ポリマー



・接着芯地



1-(3) 事業紹介 断熱材事業

高い断熱性能を持つグラスウール断熱材の開発、製造、販売

■ 2023年度実績（概算値）

売上高 150億円、 営業利益 4億円

■ 強み

・省エネルギー住宅実現に貢献する独自技術による高性能断熱材の開発力



2.中期経営計画（2024-2027年度）

中期経営計画の2つのポイント

『Big VISION 2030』実現に向けた確実な投資の刈り取りと既存成長戦略の推進

スペシャルガラス、メディカル分野において前中期経営計画で実行した投資の着実な刈り取り
及び市場の急激な立ち上がりにも対応可能とする積極的な成長投資を継続

2030年を超え、次の100年に向けた新たな柱づくり

- ・スペシャルガラスとメディカルに次ぐ
新たな柱づくり
- ・開製販の一体運営、顧客視点の強化

新体制の立ち上げ

2023年度まで		
グラスファイバー事業部門	製造	販売
メディカル事業部門	製造	販売
繊維事業部門	製造	販売
総合研究所	研究	商品開発
企画管理本部		

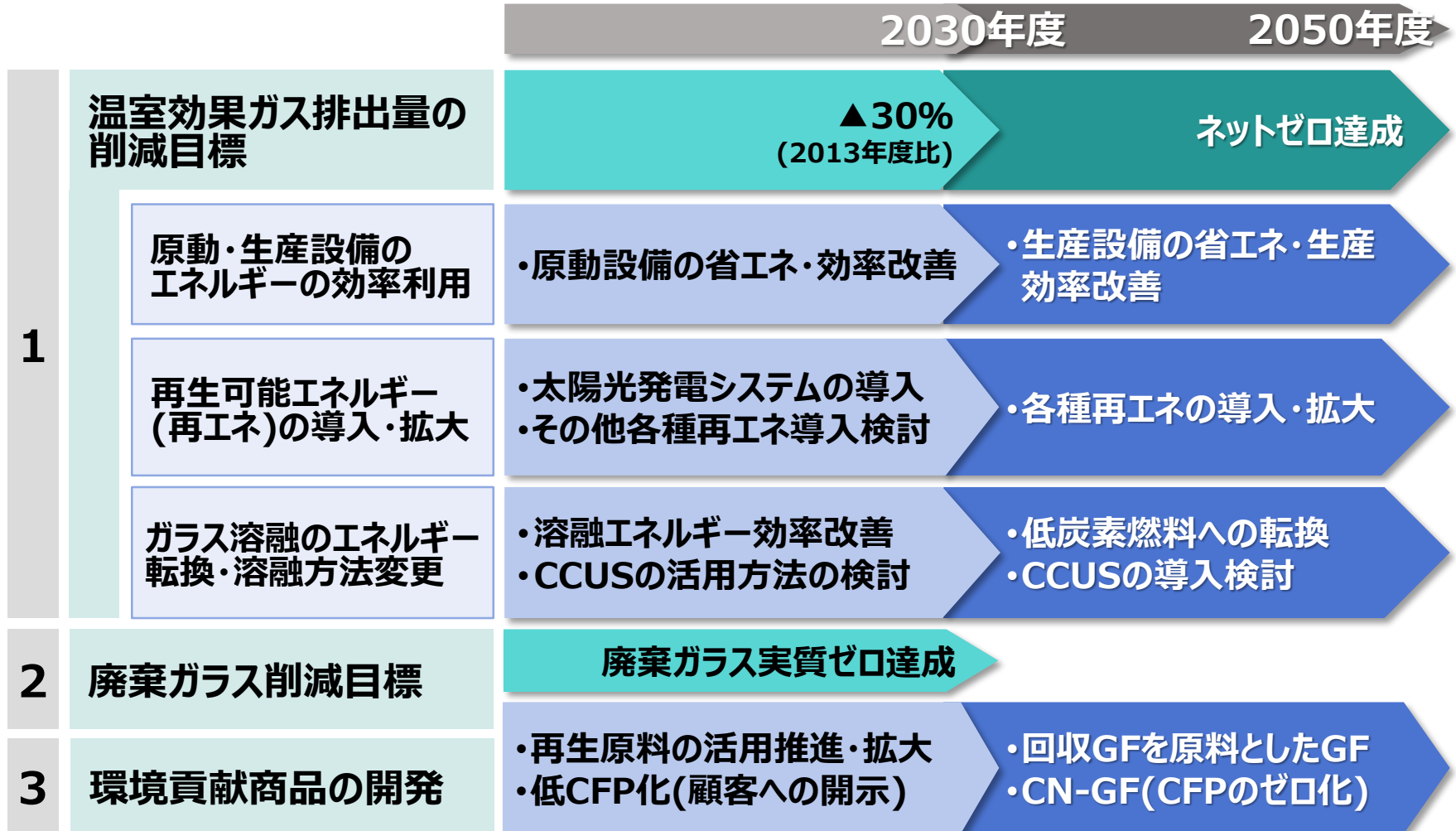
2024年4月1日以降		
電子材料事業本部	商品開発	製造 販売
メディカル事業本部	商品開発	製造 販売
複合材事業本部	商品開発	製造 販売
資材ケミカル事業本部	商品開発	製造 販売
断熱材事業本部	商品開発	製造 販売
技術開発本部	基礎・ 生産技術研究	DX 環境 技術
企画管理本部		

全社定量目標（2024-2027年度）

売上高 目標（2027年度）	1,350億円
営業利益 目標（2027年度）	200億円
EBITDA 目標（2027年度）	320億円
ROE	8%以上（安定的に資本コストを上回る水準）
ROIC	WACCを上回る水準
設備投資（4年累計）	約800億円
研究開発費（4年累計）	約150億円
ネットD/Eレシオ	0.4倍以下
自己資本比率	55%以上
株主還元方針	1株あたり配当金55円を下限とし、定常収益に対する連結配当性向30%を基本方針とする
従業員向けインセンティブの設定	単年度単位で営業利益達成の場合に第3のボーナスを支給 125億円で0.5カ月分、以降25億円単位で0.5カ月分ずつ増額

環境関連（ロードマップ）

- まずは2030年度のマイルストーン実現に向けて個別の取り組みを遂行



※ CN-GF：カーボンニュートラル・グラスファイバーの略。原料の採掘から輸送・製造までの過程で排出されるCO₂を実質ゼロ化したグラスファイバー

コーポレート・ガバナンス

- 前中期経営計画の期間中に業績連動型株式報酬制度を導入
- 引き続き、ガバナンス体制の強化に向けて不断の見直しを行う

■ 取締役会の運営体制（2024年3月末時点）

- 社外取締役4名（うち女性1名）を含む7名構成
- 多様な経験・スキルを持つ取締役の構成とし、経営方針・長期戦略など、より大きな視点での議論を深化

[社外取締役]

経営経験者（社長、会長）、経営経験者（社長、技術開発）
弁護士（企業法務、ニューヨーク州弁護士）、会計士（監査法人パートナー）

■ 企業統治体制の強化

- 取締役会事前報告会を導入し、審議内容を深化（2016～）
- 取締役会実効性評価の導入により取締役会の監督機能をさらに向上（2017～）
- 業績連動型株式報酬制度を導入（2022～）

中期経営計画の達成に向けて

- スペシャルガラス関連は、過去に実行した投資の刈り取りを進めるとともに、需要を見極めた積極的な新規投資、新商品の投入に注力する
- メディカル関連では、前中期経営計画より進めている製品開発ロードマップをさらに加速させると共に、グローバル展開を強化する
- 並行して、5事業本部とコーポレート2本部の組織が一体となり、2030年以降の新たな柱づくりに取り組む
- 財務の健全性は引き続き堅持する。人財の確保・育成を加速し、中期経営計画の機動的な打ち手を支える
- 設備の強靱化、タイムリーな更新を進め、安全操業を最優先に、『Big VISION 2030』を超える持続的な成長基盤を創る

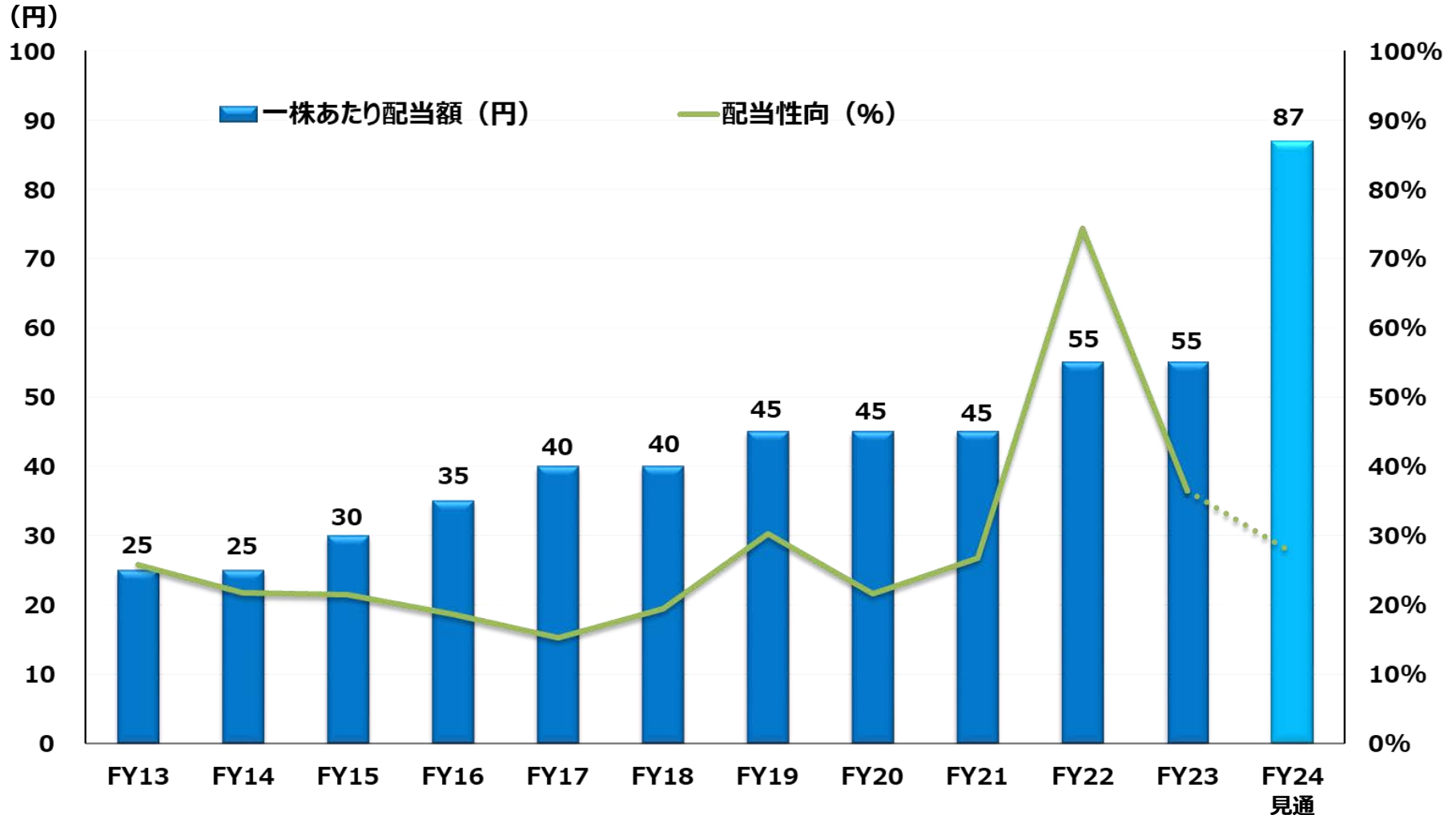
3. 株主還元について

株主還元方針（中期経営計画における定量目標より）

売上高 目標（2027年度）	1,350億円
営業利益 目標（2027年度）	200億円
EBITDA 目標（2027年度）	320億円
ROE	8%以上（安定的に資本コストを上回る水準）
ROIC	WACCを上回る水準
設備投資（4年累計）	約800億円
研究開発費（4年累計）	約150億円
ネットD/Eレシオ	0.4倍以下
自己資本比率	55%以上
株主還元方針	1株あたり配当金55円を下限とし、定常収益に対する連結配当性向30%を基本方針とする
従業員向けインセンティブの設定	単年度単位で営業利益達成の場合に第3のボーナスを支給 125億円で0.5カ月分、以降25億円単位で0.5カ月分ずつ増額

株主還元

- 1株当たりの配当金は55円を下限に、定常収益に対する連結配当性向30%が基本方針
- FY2024中間配当金は1株当たり27.5円で実施



【ご参考】日東紡株価・日経平均 推移 (2022年8月～2024年12月末時点)

- 2024年3月4日に日経平均は4万円台に到達、7月以降も4万円をはさむ高水準で推移するなか、当社の株価も好パフォーマンスを継続



Appendix

- FY2024 第3四半期業績概要（2024年4月～12月）
- FY2024 通期見通し（2024年4月～2025年3月）

FY2024 第3四半期業績概要 (2024年4月~12月)

FY2024 3Q 決算ハイライト

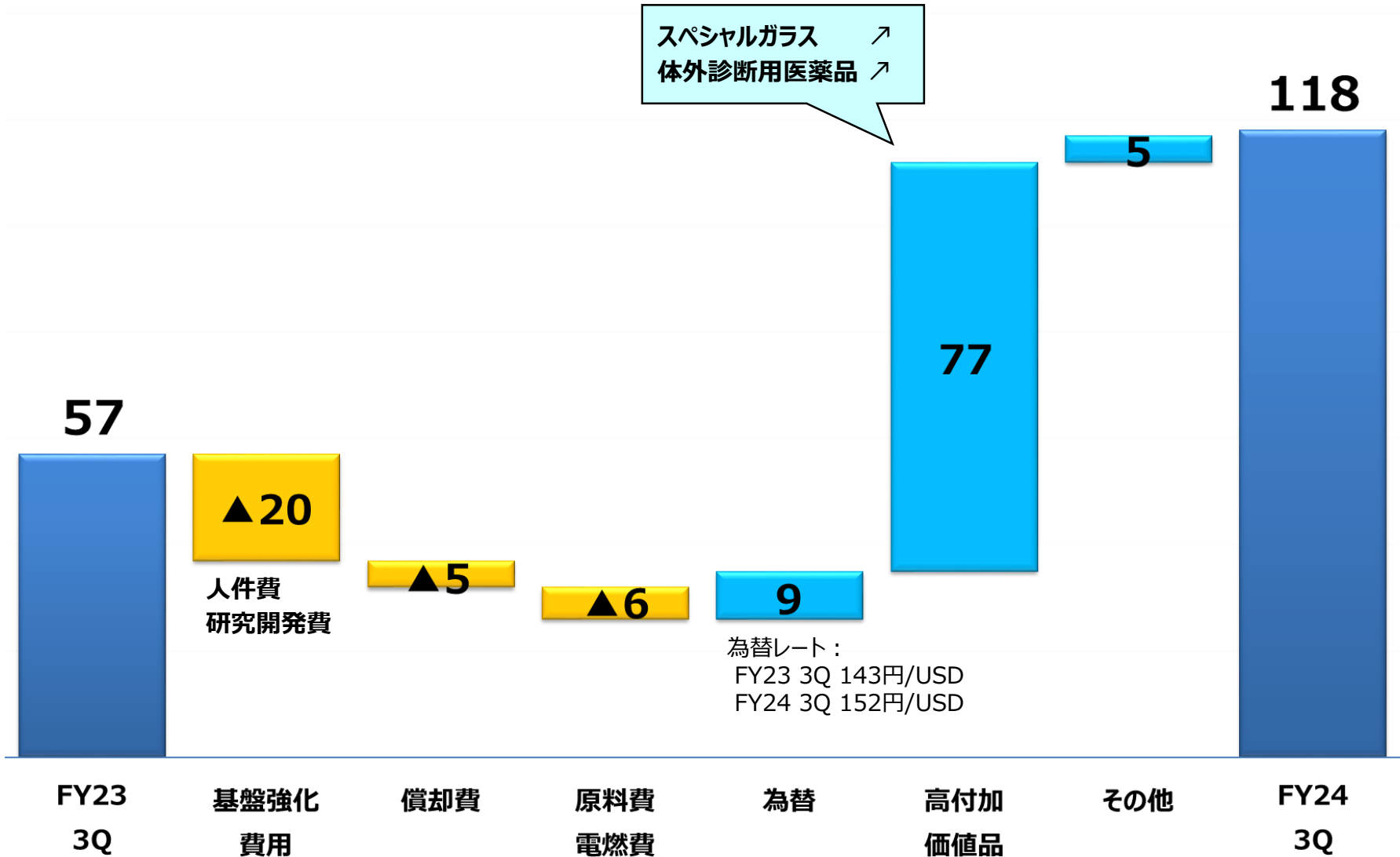
- スペシャルガラスの販売が好調に推移したことなどにより、前年同期比で増収増益
- 経常利益、当期純利益は前年同期実績を大きく上回った

(単位：億円)

	FY2023				FY2024				増減 3Q累計	
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計		
売上高	203	224	253	680	261	269	285	815	135	19.8%
営業利益 (ROS)	9 (4.4%)	22 (10.0%)	26 (10.2%)	57 (8.4%)	39 (15.0%)	34 (12.8%)	45 (15.7%)	118 (14.5%)	61	107.1%
EBITDA (EBITDAマージン)	26 (12.9%)	40 (17.9%)	44 (17.3%)	110 (16.2%)	58 (22.3%)	54 (19.9%)	64 (22.6%)	176 (21.6%)	66	59.8%
経常利益	19	23	26	68	48	30	55	132	64	94.8%
当期純利益	11	25	19	54	33	22	40	94	41	75.6%

営業利益 増減分析 (FY23 3Q累計 vs FY24 3Q累計)

(単位：億円)



セグメント別 事業概況

電子材料	<ul style="list-style-type: none"> • スペシャルガラス・ヤーン、クロスは、データセンター向けの旺盛な需要が続き販売好調 	増収・増益
メディカル	<ul style="list-style-type: none"> • 体外診断用医薬品の販売は国内・海外ともに堅調に推移 	増収・増益
複合材	<ul style="list-style-type: none"> • 販売は前年同期を上回ったものの、上期に行った生産設備の定期修繕に伴うコストアップなどの影響を受ける 	増収・減益
資材・ケミカル	<ul style="list-style-type: none"> • 売上は安定的に推移するも、原材料などのコストアップの影響を受ける 	増収・前年並み
断熱材	<ul style="list-style-type: none"> • 高性能断熱材の販売増が収益に寄与 	増収・増益

セグメント別業績：売上高

(単位：億円)

	FY2023				FY2024				増減
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計	3Q累計
電子材料	63	70	79	211	96	100	106	302	91
メディカル	28	32	34	95	34	36	33	103	9
複合材	29	32	34	94	33	32	35	100	6
資材・ケミカル	23	22	24	69	22	23	26	72	3
断熱材	33	38	41	111	37	38	42	117	6
その他事業	28	31	41	100	39	40	43	121	20
計	203	224	253	680	261	269	285	815	135

セグメント別業績：営業利益

(単位：億円)

	FY2023				FY2024				増減
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計	3Q累計
電子材料	8	13	11	32	35	29	35	99	67
メディカル	4	5	8	17	7	7	4	17	0
複合材	▲ 3	▲ 0	0	▲ 3	▲ 4	▲ 3	▲ 1	▲ 7	▲ 4
資材・ケミカル	2	2	2	7	2	1	3	6	▲ 1
断熱材	▲ 0	3	5	7	2	2	4	7	0
その他事業	1	1	1	3	1	1	1	3	▲ 0
全社調整	▲ 3	▲ 2	▲ 1	▲ 6	▲ 4	▲ 2	▲ 1	▲ 7	▲ 1
計	9	22	26	57	39	34	45	118	61
(ROS)	(4.4%)	(10.0%)	(10.2%)	(8.4%)	(15.0%)	(12.8%)	(15.7%)	(14.5%)	

FY2024 通期業績見通し (2024年4月～2025年3月)

FY2024 セグメント別 事業環境

電子材料	<p>スペシャルガラスの好調な販売継続</p> <ul style="list-style-type: none"> データセンターやメモリー向け低誘電ガラス（NEガラス）、半導体パッケージ基板用（Tガラス）ともに需要は強く、過去最高の販売水準を見込む
メディカル	<p>安定した収益性は維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内・海外ともに需要は堅調に推移するも、人財確保や研究開発などの基盤強化を実施
複合材	<p>販売は緩やかな回復傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売は緩やかな回復傾向にあり、前年を上回る見込み 上期に生産設備の定期修繕を実施したことなどによるコストアップの影響を受ける
資材・ケミカル	<p>新規ビジネス創出の準備期間</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売は安定的に推移するとともに、新商品開発などを推進
断熱材	<p>販売堅調も、コストアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売は堅調に推移するものの、来期に予定されている大型設備修繕による販売量調整や諸経費の増加を見込む

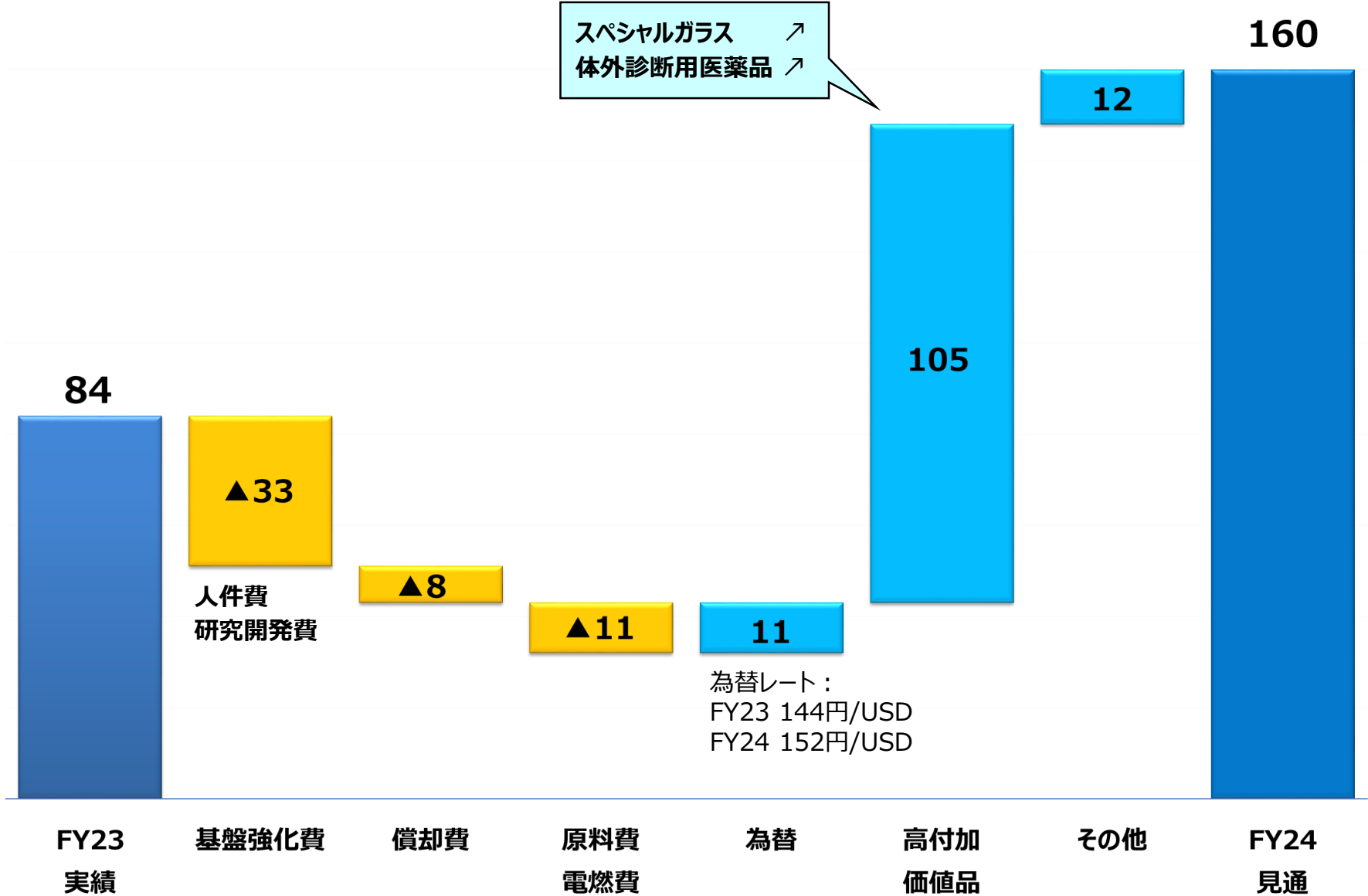
FY2024 通期業績見通し

(単位：億円)

	FY2023					FY2024					増減 (対前年) 通期	11/1 公表値 通期 見通
	上期 実績	下期 実績		通期 実績	上期 実績	下期 見通		通期 見通				
		3Q 実績	4Q 実績			3Q 実績	4Q 見通					
売上高	427	253	252	505	933	531	285	275	559	1,090	157	1,090
営業利益 (ROS)	31 (7.3%)	26 (10.2%)	27 (10.6%)	53 (10.4%)	84 (9.0%)	73 (13.8%)	45 (15.7%)	42 (15.3%)	87 (15.6%)	160 (14.7%)	76	150 (13.8%)
EBITDA (EBITDAマージン)	66 (15.5%)	44 (17.3%)	45 (17.9%)	89 (17.6%)	156 (16.7%)	112 (21.1%)	64 (22.6%)	64 (23.2%)	128 (22.9%)	240 (22.0%)	84	230 (21.2%)
経常利益	42	26	30	56	98	77	55	41	96	170	72	160
当期純利益	35	19	19	38	73	54	40	23	63	115	42	105

営業利益 増減分析 (FY2023 vs FY2024)

(単位：億円)



セグメント別見通し：売上高

(単位：億円)

	FY2023 通期 実績	FY2024					増減 (対前年) 通期	11/1 公表値 通期 見通
		上期 実績	下期 見通		通期 見通			
			3Q 実績	4Q 見通				
電子材料	299	196	106	111	217	413	114	416
メディカル	128	70	33	34	67	137	9	137
複合材	127	65	35	35	70	135	8	135
資材・ケミカル	91	45	26	21	48	93	2	95
断熱材	148	75	42	38	80	155	7	150
その他事業	141	78	43	36	79	157	17	157
計	933	531	285	275	559	1,090	157	1,090

※FY2023のセグメント数値は現時点の概算です

セグメント別見通し：営業利益

(単位：億円)

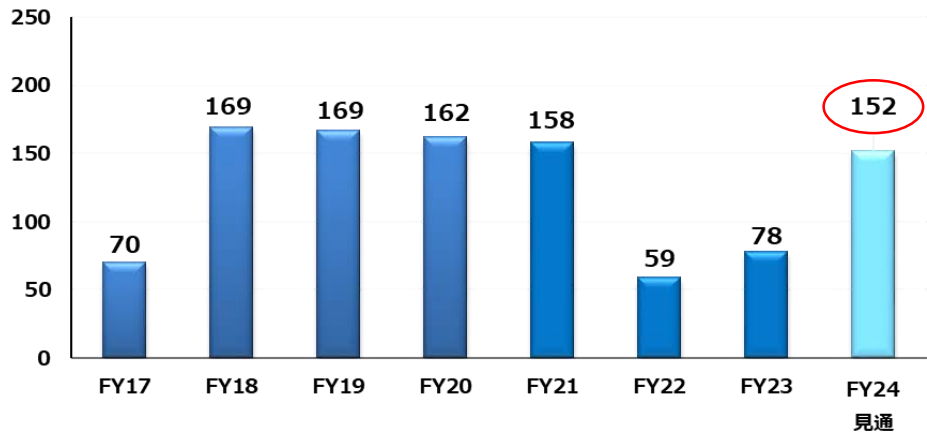
	FY2023 通期 実績	FY2024					増減 (対前年) 通期	11/1 公表値 通期 見通
		上期 実績	下期 見通		通期 見通			
			3Q 実績	4Q 見通				
電子材料	54	64	35	39	74	138	84	134
メディカル	24	14	4	8	11	25	1	24
複合材	▲ 7	▲ 7	▲ 1	▲ 2	▲ 2	▲ 9	▲ 2	▲ 9
資材・ケミカル	8	3	3	1	4	7	▲ 1	8
断熱材	9	4	4	▲ 1	2	6	▲ 3	4
その他事業	4	2	1	0	1	3	▲ 1	3
全社調整	▲ 8	▲ 6	▲ 1	▲ 3	▲ 4	▲ 10	▲ 2	▲ 14
計	84	73	45	42	87	160	76	150
(ROS)	(9.0%)	(13.8%)	(15.7%)	(15.3%)	(15.6%)	(14.7%)		(13.8%)

※FY2023のセグメント数値は現時点の概算です

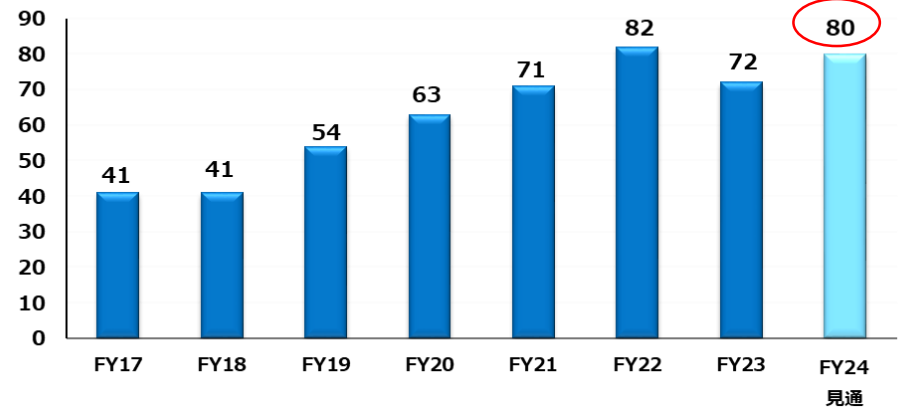
設備投資・減価償却費・研究開発費（通期）

（単位：億円）

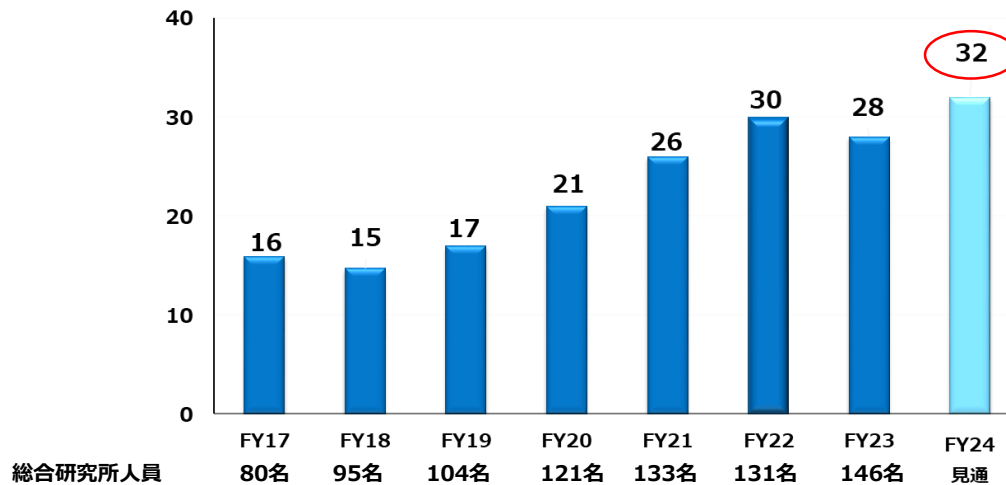
設備投資額（検収ベース M&A含む）



減価償却費



研究開発費



Nittobo

本資料に記載されている予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいるため、将来の業績数値や施策の実現を確約・保証するものではありません。潜在的なリスクや不確実性等の業績に影響を与え得る要因については、経済情勢、需要動向、為替変動、燃料価格の変動等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料の無断の転載や二次利用をお断りいたします。